

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】令和3年12月23日(2021.12.23)

【公開番号】特開2020-104304(P2020-104304A)

【公開日】令和2年7月9日(2020.7.9)

【年通号数】公開・登録公報2020-027

【出願番号】特願2018-242853(P2018-242853)

【国際特許分類】

B 41 J 5/30 (2006.01)

G 06 F 3/12 (2006.01)

G 06 T 11/20 (2006.01)

【F I】

B 41 J 5/30 Z

G 06 F 3/12 304

G 06 F 3/12 308

G 06 F 3/12 354

G 06 T 11/20 300

【手続補正書】

【提出日】令和3年11月10日(2021.11.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

印刷データを受信する受信手段と、

ビットマップデータを生成するために、前記印刷データに基づいてレンダリング処理を実行する実行手段と、

印刷データで指定された所定の線幅より細い斜め線が含まれるビットマップデータを生成するために、前記レンダリング処理に所定のレンダリング設定を使用するか否かを決定する決定手段と、

前記レンダリング処理によって生成された前記ビットマップデータにスムージング処理を実行するスムージング手段とを有し、

前記決定手段が前記レンダリング処理に前記レンダリング設定を使用すると決定した場合、前記スムージング手段は前記ビットマップデータ内の斜め線を太らせるスムージング処理を実行し、前記決定手段が前記レンダリング処理に前記レンダリング設定を使用しないと決定した場合、前記スムージング手段は前記ビットマップデータ内の斜め線を細らせるスムージング処理を実行することを特徴とする画像処理装置。

【請求項2】

前記スムージング手段は、前記ビットマップデータ内の第1の注目画素周辺の画素と所定の画素パターンとが一致する前記第1の注目画素にスムージング処理を実行することを特徴とする請求項1に記載の画像処理装置。

【請求項3】

前記斜め線を太らせるスムージング処理は、第2の注目画素周辺の画素と第2の画素パターンとが一致する前記第2の注目画素であり、前記第2の注目画素周辺の画素がライン属性を示す前記第2の注目画素にスムージング処理を実行することであることを特徴とする請求項2に記載の画像処理装置。

**【請求項 4】**

前記斜め線を細らせるスムージング処理は、第3の注目画素周辺の画素と第3の画素パターンとが一致する前記第3の注目画素であり、ライン属性を示す前記第3の注目画素にスムージング処理を実行することであることを特徴とする請求項2または3に記載の画像処理装置。

**【請求項 5】**

前記スムージング手段は、用紙に対する前記斜め線の角度が水平または垂直から遠いほどより強いスムージング処理を実行することを特徴とする請求項1乃至4の何れか1項に記載の画像処理装置。

**【請求項 6】**

前記レンダリング設定は、Post ScriptのStroke Adjust機能がオンになっていることに基づいて設定されたレンダリング設定であることを特徴とする請求項1乃至5の何れか1項に記載の画像処理装置。

**【請求項 7】**

前記Stroke Adjust機能をオンするか、もしくはオフにするかの設定を受け付ける受付手段を有することを特徴とする請求項6に記載の画像処理装置。

**【請求項 8】**

前記ビットマップデータに前記スムージング処理を実行することにより生成されるビットマップデータに基づいて、画像を用紙に印刷する印刷手段をさらに有することを特徴とする請求項1乃至7の何れか1項に記載の画像処理装置。

**【請求項 9】**

印刷データを受信する受信工程と、  
ビットマップデータを生成するために、前記印刷データに基づいてレンダリング処理を実行する実行工程と、

印刷データで指定された所定の線幅より細い斜め線が含まれるビットマップデータを生成するために、前記レンダリング処理に所定のレンダリング設定を使用するか否かを決定する決定工程と、

前記レンダリング処理によって生成された前記ビットマップデータにスムージング処理を実行するスムージング工程とを有し、

前記決定工程で前記レンダリング処理に前記レンダリング設定を使用すると決定された場合、前記スムージング工程で、前記ビットマップデータ内の斜め線を太らせるスムージング処理を実行し、

前記決定工程で前記レンダリング処理に前記レンダリング設定を使用しないと決定した場合、前記スムージング工程で前記ビットマップデータ内の前記斜め線を細らせるスムージング処理を実行することを特徴とする画像処理方法。

**【請求項 10】**

請求項1乃至8の何れか1項に記載の画像処理装置の各手段をコンピュータが実行するためのプログラム。

**【手続補正2】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本発明の画像処理装置は、印刷データを受信する受信手段と、ビットマップデータを生成するために、前記印刷データに基づいてレンダリング処理を実行する実行手段と、印刷データで指定された所定の線幅より細い斜め線が含まれるビットマップデータを生成するために、前記レンダリング処理に所定のレンダリング設定を使用するか否かを決定する決定手段と、前記レンダリング処理によって生成された前記ビットマップデータにスムージング処理を実行するスムージング手段とを有し、前記決定手段が前記レンダリング処理に

前記レンダリング設定を使用すると決定した場合、前記スムージング手段は前記ビットマップデータ内の斜め線を太らせるスムージング処理を実行し、前記決定手段が前記レンダリング処理に前記レンダリング設定を使用しないと決定した場合、前記スムージング手段は前記ビットマップデータ内の斜め線を細らせるスムージング処理を実行することを特徴とする。